



www.alpajapan.org

日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

Date 2005.11.28 No. 29 - 09

発行:日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan
幹事会
〒144-0043
東京都大田区羽田5-11-4
フェニックスビル
TEL.03-5705-2770
FAX.03-5705-3274
E-mail:office@alpajapan.org

A320 インシデント最新情報

IFALPA Safety Bulletin 006

Jet Blue A320 landed with crippled nose gear

Jet Blue A320のNose wheelsが90度曲がってロサンゼルスに着陸した最近のインシデントは、エアバスA320 Familyを運航しているパイロットとオペレーターに、大きな関心を引き起こしました。

IFALPAはエアバス社を通じ、過去10年間に13件同様のインシデントが世界中で起きていて、4つの異なった原因が特定されているという事を知りました。以下の概要は、各インシデントの原因と、エアバス社が行ってきた解決策です。

5件は初期のBSCU (Brake and Steering Control Unit STD5.2 or earlier 80kts を超えると Nose wheel steering の Power を Cut off する) に起因するもので、Nose wheels の空気が抜けている場合、90度までNose wheelsを曲げる可能性があります。BSCUを改修する事により、1993年に問題は解決されています。

4件はExtruded sealによりHydraulic steering blockを起こすもので、Hydraulic block sealを改良することにより、2000年に問題は解決されました。

1件はNose Wheels格納中に風圧によりShock Absorberが伸びきらず、BSCUがFaultを感知したためにHydraulic Powerがカットされず、Centering CamsによりCenteringされなかったものです。2001年8月からBSCU STD9.1に改修中です。

3件は整備作業、Shock AbsorberのSeal交換、Gearの不適切な取り付けなどによるものです。AMM (Aircraft Maintenance Manual) に、誤取り付けに対して二次チェックを追加することにより解決しました。故障しない補償つきのもを上部支柱へ装着する変更 (Gearの取り卸しが必要) も、2004年10月から可能です。

未解決の問題のため、Nose WheelsはWheels位置により以下両方のシステム不具合で格納できない場合がある。コックピットに「L/G SHOCK ABSORBER FAULT」と「WHEEL N/W STRG FAULT」がGear Extendの状態が表示された場合である。これらの警告は、WheelsをCenteringできないのを意味するだけでなく、Centerから90度Turnした位置にある可能性があるということです。

Jet Blueのインシデントは、現在NTSBで調査中です。エアバスは、現在利用可能な最も良い情報をBulletinとして発行しました。Bulletinは、N/G SHOCK ABSORBER上部支柱のanti-rotation lugsに損傷があったと報告しています。運航乗務員に対する表示は、L/G SHOCK ABSORBER FAULTとWHEEL N/W STRG FAULTです。またエアバスのBulletinは、これらFault indicationsの対処法を運航乗務員に提供します。

IFALPAは、世界中のパイロットグループが自分達それぞれの運航本部と共に、この問題に関してエアバスからの最新情報を運航乗務員に提供するよう取り組むことを推奨します。

A318/319/320/321 Familyすべての航空機は、最新の変更と点検を受けることを確実にすることに加えて、このタイプのFailureが再び起こる場合には、最もうまくいく可能性のある結論を準備し、調整された手順が創り出されるべきである。

日乗連では、引き続き世界の動向を注視し、最新の情報をお伝えします。

